

2007年10月17日
20号

かけはし

水戸総合病院広報誌

発行所 (株)日立製作所水戸総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029(272)5111
発行人 堀田 義雄
編集 広報委員会
URL: <http://www.hitachi.co.jp/hospital/mito/>

【水戸総合病院理念】

説明責任を基本とした最新の技術と最良のサービスの提供により患者さまの満足される医療を遂行する

【水戸総合病院基本方針】

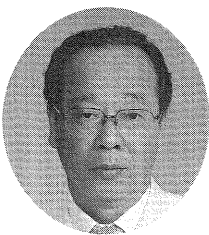
「地域の皆様の信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期医療に重点を置いた地域完結型医療の実施、②最新の医療技術の確立、③説明責任を実施することによる最良のサービスの遂行を実践する

院長のあいさつ

院長 永井庸次

例年にない猛暑も過ぎ、紅葉のたよりもちろはら聞かれるようになった今日この頃です。皆様方にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

水戸病院は、ひたちなか市における中核病院として地域の皆さまにご利用いただいております。しかしながら、建家は築後35年から48年が経過し、耐震性の問題やアメニティの低下と構造上の制約から医療機能の強化が難しい状況にありました。この問題を解決すべく、長年の悲願でありました「水戸病院の新病棟建設計画」に関しまして、9月6日計画検討の許可を本社から得ることができました。このようなうれしいニュースをお伝えできることは、私どもにとりまして望外の喜びです。ここに至るまで、本社の方々の甚大なるご配慮はもちろんのこと、関係各位、当院職員を含め、当院に受診されている皆様方のおかげであると本当に深く感謝申し上げます。水戸病院リニューアルは前任院長の鶴田先生の時からの悲願であり、まさに10数年をかけた



願ひでした。ただし、本認可はまずは計画を検討してよいという認可であり、今後建屋の基本設計、詳細設計等実際に新病棟が建つまでにはやるべきこと、克服しなければならないことが多々ございますが、皆様方の益々のご支援、ご指導がなければ、到底成就できないものと考えておりますので、今後とも尚一層よろしくご支援の程、お願いいたします。

新病棟建設の基本的なコンセプトは「地域を護る病院」といたしました。皆様方もマスコミ等でご存知のように、我が国の医療、特に地方の医療は将に崩壊しつつあります。ひたちなか市の人口10万人当りの医師数は約70名、これはつくば市の1/4です。このような医師不足の地域において、病院勤務医の確保と医療の質の担保とは表裏一体であり、そのためには地域の中核となる病院が絶対不可欠であります。その意味で、アメニティの改善を含め、救急・がん治療等、医療機能の充実を新しい病院で図ることが、私の責務であると思っておりますし、まさにこの地域の医療、市民の方々を護ることであるとと考えております。

今回はとりあえず、計画の認可のご報告をさせていただきましたが、新しい病院は、皆様方の色々なお考えを入れながら作っていきたくと考えておりますので、今後ともよろしく当院をお引き立ていただければ幸いです。

特定健診・特定保健指導

一標準的な健診・保健指導一

保健師 加藤 明美

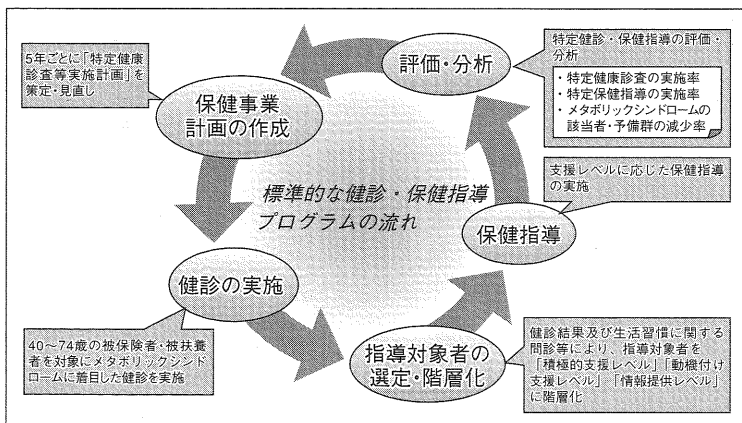
今回の医療制度改革に伴い、平成20年度から老人保健法を「高齢者医療の確保に関する法律」と改め、平成27年度には生活習慣病・予備群を25%減少させることを目標に、健診・保健指導が医療保険者の義務となり、その計画から実施・評価まで実施していくことになります。

具体的には、内臓脂肪型肥満症候群（メタボリックシンドローム）に着目した『標準的な健診・保健指導プログラム』が国より公表されており、生活習慣病・予備群の減少のため、健診や質問票の結果などから個人ごとのリスクを分析し、それにあった保健指導を実施していきます。これらの計画・実施・評価にあたっては、医療保険者に所属する医師・保健師・管理栄養士等が実施するとされています。

特定健診や特定保健指導の実施、計画・評価にかかわるデータは、国が定める標準様式に従って、記録保存され、国の健診・保健指導の見直しや都道府県の医療費適正化計画、健康増

進計画などの策定・評価・見直しのために活用されていきます。

水戸総合病院でもこれらに対応すべく、平成20年度からの実施に向けて、準備を進めているところです。順次、ホームページなどで公開していきますのでお待ちください。



形成外科診療科について

形成外科 三木 啓稔

形成外科は最近、徐々に耳慣れた言葉になりつつあると思いますが、“形成外科とは外科の一分野ではあるが、特に先天性および後天性の身体外表の形、色の変化、すなわち醜状を対象とし、これを外科手技により形態解剖学的に正常にすることにより、個人を社会に適応させるものである。”とされています。具体的には以下のような疾患を扱っています。

1. 熱傷
2. 顔面骨骨折、顔面軟部組織損傷
3. 口唇裂、口蓋裂
4. 手足の先天異常、外傷（多指症、合趾症）
5. その他の先天異常（小耳症、埋没耳、耳垂裂、副耳、陥没乳頭、副乳など）
6. 良性腫瘍、母斑、血管腫、
7. 悪性腫瘍およびそれに関連する再建
8. 瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド
9. 褥瘡、難治性潰瘍
10. 美容外科
11. その他（臍ヘルニア、眼瞼下垂、陥入爪、腋臭症など）

（熱傷及び褥瘡の初診は現在、皮膚科となっております。また重症熱傷、及び一部の重症患者様は現在受けられませんので不明な点は当院形成外来へお問い合わせください。一部、＜口唇裂、口蓋裂、一部の先天異常など＞日立総合病院と連携して治療いたしております。）よろしくお願いたします。

採用・退職医師の紹介

担当科	氏名	異動日
耳鼻咽喉科	境 修平	採用(2007.4/1)
歯科	今井 英樹	採用(2007.4/1)
形成外科	三木 啓稔	採用(2007.4/1)
内科	渡邊 あずさ	採用(2007.4/1)
	原田 匡一	採用(2007.4/1)
	田中 喜美夫	採用(2007.6/1)
外科	黒川 友博	採用(2007.4/1)
	福沢 淳也	採用(2007.4/1)
救急科(副院長)	湯浅 洋司	退職(2007.3/31)
内科	廣瀬 由美	退職(2007.3/31)
外科	野崎 礼史	退職(2007.3/31)
耳鼻咽喉科	野村 正猛	退職(2007.3/31)
整形外科	李 小由	退職(2007.5/31)
健診センタ	高島 裕一郎	退職(2007.7/31)
内科	馬場 雅子	退職(2007.9/30)

水戸総合病院・総合健診センター休目のお知らせ

2007年

2008年

2007年		2008年	
日	月	日	月
1	2	1	1
2	3	2	2
3	4	3	3
4	5	4	4
5	6	5	5
6	7	6	6
7	8	7	7
8	9	8	8
9	10	9	9
10	11	10	10
11	12	11	11
12	13	12	12
13	14	13	1
14	15	14	2
15	16	15	3
16	17	16	4
17	18	17	5
18	19	18	6
19	20	19	7
20	21	20	8
21	22	21	9
22	23	22	10
23	24	23	11
24	25	24	12
25	26	25	1
26	27	26	2
27	28	27	3
28	29	28	4
29	30	29	5
30	31	30	6
31		31	7

■は水戸総合病院休日 ○は総合健診センター休日

公開講座を開催します お気軽にご参加ください

事務局 仲村 稔

日時 2007年12月15日(土) 14:00~15:00

会場 水戸総合病院 健診センター 講堂

テーマ 動脈硬化性疾患の診断・治療
—血管の病気について—

演者 水戸総合病院

循環器内科主任医長 田中 喜美夫

医療安全研修会を開催しました

TQMセンタ 市村 實枝子、根本 広子

医療安全室では、患者さまに安全な医療が行われるよう、職場巡視や業務改善の実施に加え、9月には安全意識や技術向上のために研修会を開催しました。

また、7月より院内感染防止に関わる専任看護師が医療安全室に勤務しています。院内感染予防対策を職員に教育・指導することが専任看護師の役割の一つです。感染防止の基本は「手洗い」です。除菌効果が最大になる方法論を研修会で指導しました。

ドライアイとその対策

保健師 加藤 明美

10月10日は「目の愛護デー」です。現代の生活は、テレビ、パソコン、テレビゲームなどに囲まれて、目を酷使することが多くなっています。

目が疲れる・渴いた感じ・重たいなどの不快感はありませんか？このような症状の中には「ドライアイ」という病気が隠れていることがあります。

ドライアイは目を保護する涙が不足し、目の表面が乾く病気で、パソコンやテレビゲーム・読書などに集中して「まばたき」が減ると悪化します。作業の60分のうち10分は休憩を心がけ、目が疲れたら適宜休みをとりましょう。

また、テレビやパソコンの画面を目より下に置くこともドライアイの改善に効果的があります。睡眠不足・ストレス・冷暖房などもよくないので、目薬を使用する、睡眠時間を確保する、部屋の湿度を保つように加湿器やぬれタオルを干すなどの対策をお勧めします。

「ドライアイ」は悪化すると角膜や結膜を痛めますので、異変を感じたら、眼科を受診してください。